

# 「ツマジロクサヨトウ」にご注意ください。

トウモロコシ、イネ、サトウキビ、サツマイモ、野菜類を食害する「ツマジロクサヨトウ」と思われたらご連絡ください。



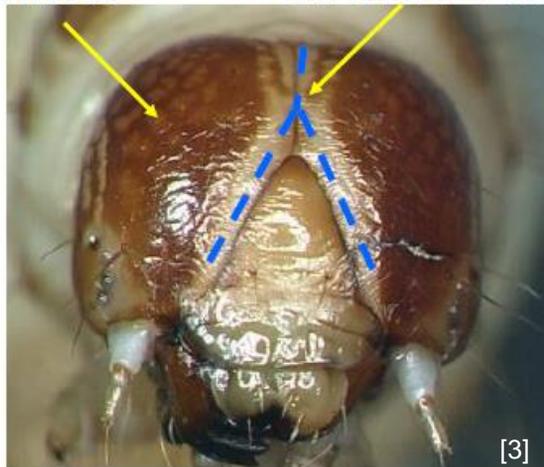
## 特徴

- 幼虫は大きくなると体長約4 cm, 体色は左の写真のように変化があります。
- 頭部には網目模様があつて「逆Y字」に見えます。
- 若齢幼虫は区別できない場合があります。

網目模様

淡色部は逆Y字状

被害の状況



幼虫の寄生



[1]~[5] は植物防疫所原図

本虫を発見した場合は、下記に御連絡ください。

埼玉県病害虫防除所

電話:048-539-0661

FAX:048-539-0663

埼玉県農林部農産物安全課

農薬:植物防疫担当

電話:048-830-4053

FAX:048-830-4832

\* その他お近くの県農林振興センターにもご相談ください。

# 「ツマジロクサヨトウ」に注意

九州・沖縄で飼料用とうもろこしに発生中

- ・南北アメリカで発生以降、アフリカ、アジアまで**発生範囲を拡大中**
- ・アフリカでは、とうもろこしに甚大な被害
- ・日本では本年7月に、**九州・沖縄で初めて発生を確認**  
(埼玉県内では未発生(令和元年8月時点))
- ・飼料用とうもろこしで多く発生しており、被害の拡大による**畜産経営への影響が懸念**されます



## ツマジロクサヨトウの特徴

飛翔距離が長い、  
繁殖力が強い



- ・気流に乗って長距離移動する
- ・1回の産卵数は150~200個
- ・生涯産卵数は最大1000個



・幼虫が葉、茎、子実を食害

幼虫の食害による被害



多発すると被害が大きくなるおそれ！！

早期発見・早期防除  
が不可欠



農薬散布による防除



## 被害の拡大防止のため、

- ✓ 飼料用とうもろこしのほ場を確認し、疑わしい害虫を発見した場合は、速やかに問合せ先までご連絡ください
- ✓ 発生が確認されている地域(※)では、農薬の散布、早期の刈取を検討してください
- ✓ 地面に落ちている幼虫やさなぎを死滅させるため、次期作の有無にかかわらず、刈り取り後は、速やかに、深耕すき込み(目安は12cm以上)してください



早期の収穫



収穫後は速やかにすき込み

(※) ツマジロクサヨトウに関する情報はこちらで確認  
([http://www.maff.go.jp/j/syouan/syokubo/keneki/k\\_kokunai/tumajiro.html](http://www.maff.go.jp/j/syouan/syokubo/keneki/k_kokunai/tumajiro.html))



### 〇問合せ先

埼玉県病害虫防除所  
電話：048-539-0661 FAX：048-539-0663

埼玉県農林部農産物安全課 農薬・植物防疫担当  
電話：048-830-4053 FAX：048-830-4832

\* その他、お近くの県農林振興センターにもご相談ください。